

キミも水害に強い まちづくりマスター!



ホームページや見学施設で
雨や水害、総合治水についてもっと調べたり
身のまわりでできる対策をして
この冊子で学んだことを活かしていこう!

クエストふりかえりチェック

- ☒ 水害とは何かわかった
- ☒ 水害がおきる理由がわかった
- ☒ 水害を防ぐ方法を学んだ
- ☒ まちの中のしぐみを発見した

もっと調べてみよう!

●東京都総合治水対策協議会ホームページ

東京都総合治水対策協議会に関することや、浸透ます・
浸透トレンチ等の設置に関する助成事業についてご紹介しています。
<http://www.tokyo-sougou-chisui.jp/>



●東京都水防災総合情報システム（東京都建設局）

東京都で観測している雨の量や川の水位など、現在の情報がわかります。
<https://www.kasen-suibou.metro.tokyo.lg.jp/im/uryosui/tsim0102g.html>



問い合わせ先 都市整備局都市基盤部調整課 電話：03-5388-3386

- 河川については……建設局河川部計画課 電話：03-5320-5415
- 下水道については……区部は下水道局総務部広報サービス課 電話：03-5320-6515
多摩部は各市町村の下水道担当まで

企画・発行

東京都総合治水対策協議会（東京都および23区30市町村で構成）
事務局：東京都都市整備局都市基盤部調整課
電話：03-5388-3386 FAX：03-5388-1354

年 組 名前



発行：令和0年0月

みんなで考えよう!

水害に強い まちづくり

まちを守るしぐみを探検しよう!



アンケートに 答えてね!



この冊子でわかること

- ☒ 水害ってなに?
- ☒ どうしておきるの?
- ☒ どうすれば防げるの?
- ☒ まちの中のしぐみを発見!

東京都総合治水対策協議会

クエスト1

水害って、どんな災害なの？

大雨が降ると、まちにこんなことが起こるよ。



雨が降ると水はどこにいくの？

まちに降った雨は、下水道に集められ、川や海へ流れていきます。



雨がたくさん降って川や下水道がいっぱいになるとどうなるの？

外水氾濫



川の水が増えて、堤防から水があふれておきる災害を「外水氾濫」といいます。

内水氾濫



まちに降った雨を下水道が流しきれず、あふれておきる災害を「内水氾濫」といいます。

このような、水があふれておきる災害を**水害**と言うよ。



地下浸水って？

地下には、地下鉄の駅や地下街、地下駐車場などの施設があります。外水氾濫や内水氾濫が起こると、地下に雨水が一気に流れこみ、逃げるのが難しくなることがあります。



やってみよう！

身のまわりで、大雨のときにこまる場所をさがしてみよう！

- 例
- よく水たまりができる道
 - 川や水路が近くにある場所
 - アンダーパスがある場所

見つけたらメモしておこう！



クエスト2

東京のまちの変化で雨水はどうなるの？

むかしと今のまちを見くらべて、ちがいを探してみよう！



むかしのまちと今のまちをくらべてみよう！

むかしと今では、雨が降った時の水の流れがちがってきています。むかしのまちと今のまちでは、何が違うのでしょうか？

むかし 都市化が進む前



現在 都市化が進んだ後



さがしてみよう！

むかしのまちと今のまちで、ちがうところを見つけてみよう



気候変動で大雨がふえた！

近年、東京でも気温が高くなっています。気温が高くなると、空気の中にためられる水分がふえます。その水分が一度に雨になると、大雨（集中豪雨等）が起こりやすくなり、水害の危険が高くなります。

むかし



- ・気温は今より低い
- ・大雨は今より少ない

気温が上がった未来



- ・気温が高い
- ・大雨が増えやすい



緑がへってしまった！

開発（都市化）によりまちから緑がへって、地面に雨がしみこまなくなりました。雨を受け止めてくれる場所が少なくなり、川や下水道に一気に雨が流れこんで、氾濫などの水害が起こりやすくなりました。

緑が多いと…

- ・雨を受け止める
- ・雨が地面にしみこむ
- ・長い時間をかけて川へ流れる



緑がへると…

- ・雨を受け止める場所がへる
- ・雨が地面にしみこまない
- ・川や下水道にいきなり流れこむ



このままだと水害が心配だね。どんな対策をしているのかな？



水害からまちを守るしくみを見てみよう

まちのどこにどんな工夫がしてあるのかな？



水害に強いまちづくりに取り組む「東京都総合治水対策協議会」

水害を防ぐための工夫を、「治水」といいます。東京都と53の区市町村は、さまざまな方法を組み合わせて治水を進めるために、「東京都総合治水対策協議会」というチームで協力して取り組んでいます。



A

川や下水道があふれることなく海に流せたら…。

スムーズに水を流す

●川を整備する

川の幅を広げたり川底を深くしたりして、川に水がたくさん流れるようにしています。

石神井川（練馬区）



●下水道をつくる

道路の下に水の通り道となる下水道管をうめたり、地下にトンネルをほったりして、水を川や海に流す「下水道」をつくっています。

千川増強幹線（文京区・豊島区）



C

地面にもっと水をしみこませられたら…。

雨水を地面にしみこませる

●透水性舗装

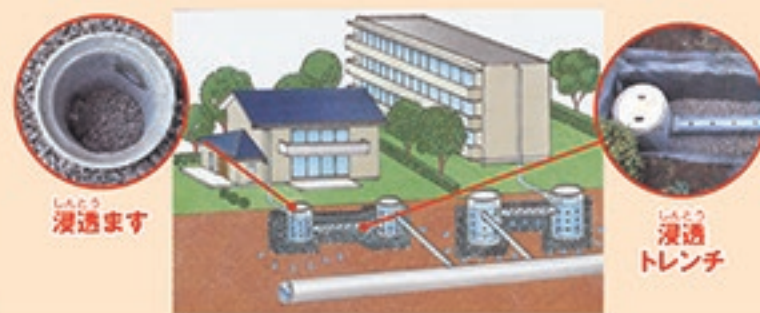
「透水」とは、水がしみこむことです。雨水がしみこみやすいアスファルトやタイルで道路をつくることで、道路に降った雨を地面にしみこませています。これによって、下水道や川に流れこむ水の量をへらしています。



手前の舗装が透水性舗装。ふつうの舗装と比べて水たまりができません。

●浸透ます・浸透トレンチ

屋根などに降った雨水を集め、下水道に流す前に地面にしみこませます。みなさんが住むような家にも取り付けることができます。



水害に強いまちづくり



B

水を流さずにためることができれば…。

雨水を一時的にためる

●調節池・雨水調整池

雨が降った時に水を一時的にためる施設です。公園にくぼんだ場所を作ったり、道路などの下に大きな箱やトンネルを作ったりしています。



和田堀公園調節池（杉並区）



渋谷駅東口雨水調整池（渋谷区）

●校庭貯留

学校の校庭の地下を利用して、敷地内に降った雨水を一時的にためています。



武蔵野市立大野田小学校（武蔵野市）

●雨水タンク

屋根などに降った雨水を一時的にためるタンクです。みなさんが住むような家にも取り付けることができます。



あずま百樹園（墨田区）

D

自然の力を借りることができれば…。

自然の力で水害を防ぐ

●レインガーデン（雨庭）

雨水をためて、ゆっくり地面にしみこませる施設です。このように自然の力を活かしたものをグリーンインフラといいます。グリーンインフラは、水害を防ぐだけでなく、みどり豊かな美しいまちづくりにも役立ちます。

天島小松川公園（江東区）

